◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.342　（2022年度No.20）**　 　2022/5/27

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

並んで立っている数人の人たち

中程度の精度で自動的に生成された説明

**銀河鉄道999みたいですね　JRの制服なんだって**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-8** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **8-14** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **14-16** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **16-20** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **20-22** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **22-25** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

5月20日　　かわら版341号・かわら版ニュース＆トピックス237号を発行。

5月24日　　かわら版ニュース＆トピックス238号を発行。

5月27日　　かわら版342号・かわら版ニュース＆トピックス239号を発行。

5月27日　　総会・２０周年記念講演会資料発送。

5月27日　　ニュースレター226号発行。

**【2022年６月7日開催の総会についてのお知らせ】**

**総会は6月7日ZOOMで開催いたします**

**15時から16時45分まで**

**賛助会員・会員の全員にZOOMのアドレスを配信いたします**

**配信の予定は5月31日になります**

**届いたかどうかご確認ください**

**なお、議決行使書・委任状の提出がまだの方はお出しください**

**当日ZOOMで参加される方は提出不要です**

**【2022年６月17日開催の20周年記念式典についてのお知らせ】**

**記念式典は6月17日ZOOMで開催いたします**

**11時から12時まで**

**6月10日にZOOMのアドレスを一斉配信いたします**

**記念講演とアドレスは同じです**

**届いたかどうかご確認ください**

**【NPO法人食科協創立20周年記念式典実施要領】**

2022年6月17日（金）午前11時から

於：一般財団法人日本科学技術連盟本部　セミナールームE

司会進行　NPO法人食科協創立20周年記念事業実行委員長

　1　開会の辞

　2　挨　拶　　　　　NPO法人食科協　理事長　馬場　良雄

　3　創立10周年以降の活動状況の概要報告

NPO法人食科協専務理事　渡邊　清孝

　祝　辞　来賓：関係行政庁（食品安全委員会　委員長）

　　　　　　　　　　　　　 　 （厚生労働省　監視安全課長）

　　　　　 　 　賛助会員代表（東京サラヤ株式会社　代表取締役社長）

　4　感謝状授与　 伊藤蓮太郎元専務理事（食科協創設メンバー）

　　　　　　　　 全国製麺協同組合連合会

一般財団法人日本科学技術連盟

　5 創立20周年にあたってのコミットメント発表

　6　閉会の辞

**【2022年６月17日開催の20周年記念講演会についてのお知らせ】**

**ZOOM参加の場合の申し込みは不要です**

**6月10日にZOOMのアドレスを一斉配信いたします**

**届いたかどうかご確認ください**

**記念講演会は12時45分に開場いたします**

**アドレスは同じなのでつなぎっぱなしでも　再入場も可能です**

**講演会は13:00～17:10まで**

**会場での参加はまだ若干の余裕があります**

**食科協創立２０周年記念講演会概要**

１、テーマ

「食の安全に係るリスクコミュニケーションのあり方について（仮題）」

　　　　～科学的根拠に基づく食の安全情報をどのように伝えるのか～

２、開催日時：２０２２年６月１７日（金）　12:50～

３，開催場所：日科技連本部ビル　セミナールームE

　　　　　（住所：東京都新宿区西新宿2-7-1　　小田急第一生命ビル4階）

４、開催方法：①会場における聴講参加（募集人員３０名程度）

　　　　　　　②Zoomによるライブ配信（特に定員は求めない）

５、講演会次第　　午後１２時３０分開場　ライブ配信　１２時５０分から

　　12:50 開会挨拶：食科協理事長　馬場　良雄

　　13:00～14:00　基調講演：食品安全委員会　山本委員長

「食品安全委員会としてのリスクコミュニケーションを含むリスクアセスメントへの取り組み」

　　14:00～14:50日経BPメディアビジネス　Nブランドスタジオ

　　　　　　　　　　　　　シニア・エディター　中野 栄子氏

「メディアは食品安全情報をどのように伝えるのか」

14:50～15:00　　（休憩）

　　15:00～15:50　NPO法人食の安全と安心を科学する会理事長 山崎　毅氏

　　　「科学的根拠に基づくリスクコミュニケーションへのあり方」

※講演の題目はあくまでも仮題です

15:50～16:00　　（休憩）

　16:00～17:10 講演者によるパネルディスカッション

　　＊それぞれの立場から講演内容の補足とリスクコミュニケーションに対する考え方の表明、事前に受けた質問への応答

座長・コーディネーター：森田　満樹（食科協）

　17:10 閉会挨拶　食科協　専務理事　渡邊　清孝

記念講演会実施に際して、講演資料及び食科協のこれまでの歩みなどの活動状況をまとめたものをDVDにして5月27日会員にヤマトＤＭ便で発送（届いていない方はおしらせください）

**HACCP制度化への対応は自主的な衛生検査から！**

**様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検査キット、アレルゲン検査キット、**

**微生物検査の簡易培地、携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか？**

**開催日程が決定いたしました‼　受講申込受付中!!**

**第8回**

**第9回**

**HACCP導入へ向けた迅速検査実習**

主催　　ATP・迅速検査研究会

**当研究会の川崎晋会長による自主衛生管理をテーマとした講義、当会理事によるATPふき取り検査や簡易培地に関する講義の他、実際にATPふき取り検査などの操作や、簡易培地の観察などを体験していただきます。**

**また、皆様の日頃のお悩みにお応えするディスカッションの場も設けます。**

HACCP制度化の動きもあるので、

それに対応して自主検査の充実を図りたい！　**でも……。**

「微生物検査を実施しているが、今後は簡易・迅速に

検査ができる培地の導入も検討している」

「簡易・迅速検査で悩みや再確認したいことがあるけど、

社内で相談できる相手がいない」

「ATPふき取り検査の正しい使い方を知りたい」

「アレルゲン検査を始めたいけど、何から始めれば……？」

**そんなお悩みをお持ちの検査担当者・品質管理担当者様へ、**

**座学と実習をご提供します！　迅速検査を未経験の方も大歓迎！**



**■開 催 日 時：**（内容は両日程とも同一です）

**受付開始　9時30分～**

**第8回：2022年6月16日（木）10時～17時 予定**

**第9回：2022年8月18日（木）10時～17時 予定**

※終了時間は変更になる可能性があります。予めご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期となる可能性があります。

**■会　　　場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）**

**■定　　　員：12名**

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させて頂く場合があります。

※大学・専門学校の学生の方もお申し込みも可能です。

※感染防止対策としてマスク着用、手指消毒、体温測定などにご協力をお願いします。

**■受　講　費：賛助会員・法人会員8,000円、一般10,000円**

**（昼食代・テキスト代・白衣・シューズカバー代込み）**

※テキストとして当会15周年記念誌「現場のためのATPふき取り検査マニュアル」を配布します。

※受講者には修了証を発行いたします。

※**公定法などの一般的な食品微生物検査の技術を習得する実習ではありません。**

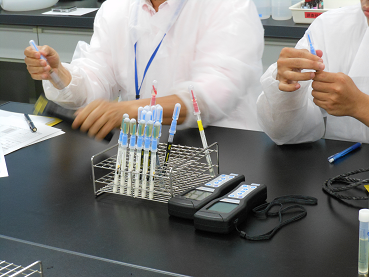
**主な内容 （予定）**

|  |
| --- |
| 【講義】HACCPにおける自主検査の位置づけ、簡易・迅速検査の役割など  【講義・実習】手洗い講習  ※実習では、手洗いチェッカーを用いた手洗い効果の確認を体験していただきます。  【講義・実習】ATP ふき取り検査、タンパク検査、アレルゲン検査、微生物培地の基礎、など  ※実習では、ATP ふき取り検査、タンパク検査キット、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器を体験して頂きます。また、簡易・迅速培地で培養した一般生菌、大腸菌・大腸菌群などの観察を体験して頂きます。  【質疑応答】事前に受け付けたご質問や、研修会を通じてのご質問などにご回答いたします。 |

〔検査資材・試薬提供（予定）〕

アヅマックス、エア・ブラウン、栄研化学、エルメックス、キッコーマンバイオケミファ、スリーエム ジャパン、東京サラヤ、日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン、mil-kin

**過去の開催時の様子**

**　　　　　　**

**　　　 　**

講義の後、様々な検査キットを体験して頂きます。

沢山の検査キットが一堂に会する、この機会をお見逃しなく！

参加者からは「色々なキットを体験できてわかりやすかった」「講義も実習も今後の参考になると思う」「これまで現場で使っていたが、疑問点が解消できた」「これから迅速検査を導入するので、社内で情報共有したい」など、迅速検査の初心者から熟練者まで、幅広い層に好評なイベントです

**申込み方法**

**下記の項目を明記の上、下記へE メールにてお申込みください。**

**1．住所、2．所属・役職、3．氏名（ふりがな）、 4．参加希望の回（第8回 or 第9回）、5．E - mail、6．電話番号、**

**7．会員or一般（当会の賛助会員・法人会員企業と機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります）**

Ｅメール： [info@ATP-jinsokukensa.com](mailto:info@ATP-jinsokukensa.com)

**↓ウェブサイトからもお申込みいただけます。**

<https://atp-jinsokukensa.com/atp-kouen.htm>

**お問い合わせ**

ATP ・迅速検査研究会 事務局担当：立石（たていし） ＴＥＬ：０９０－２９０７－５４５６

**個人情報保護／**お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、ご本人様の承諾を得ることなく、ATP・迅速検査研究会以外の目的で第三者に提供、開示することはありません。

**利用目的／**お預かりした個人情報は、ご入会・ご継続時の申込管理、ATP・迅速検査研究会のセミナー・勉強会のご紹介、及びこれらに関する各種イベント等のご案内に使用させて頂く場合がございます。

**2022年5月31日　グリーンプロダクツ研究会　 第39回勉強会　食品表示について**

3年ぶりに制限のないGWを終えました。観光地などは人出でにぎわっていたようですが、皆様はいかが過ごされましたでしょうか。  
さて、この度GP研究会では、会場とオンラインの同時開催での勉強会を企画いたしましたので、以下にご案内申し上げます。  
講演の主題となる食品表示については、今後、より厳格化の方向に進んでいくものと思われます。  
この勉強会を、事業者としての心構えについて考えるきっかけとしていただけますと幸いです。  
かつてより短い時間ではありますが、ぜひご参加ください。

**第39回勉強会**

日　　時：5月31日（火）13時20分～16時10分  
参加方法：①直接参加（大田区消費生活センター 第6集会室　先着15名）　  
　　　　　②オンライン参加（Zoomミーティング形式　後日URLを送ります）  
会　　費：3,000円　指定口座に6月末日までにお振込みください。（※１）  
申込方法：参加方法を上記②よりお選びください。  
申込締切：5月26日（木）  
申込先：大河原 http://<a\_okawara@calbee.co.jp>

＜プログラム＞  
13：20～　開会挨拶　  
13：25～　講演１「添加物不使用ガイドライン及び今後の食品表示制度の方向(仮題)」  
　　　　　講師：池戸重信　当研究会会長  
14：25～　質疑応答  
14：35～　休憩  
14：45～　講演２「食品表示の考え方」  
　　　　　講師：湯川剛一郎　同副会長  
15：55～　質疑応答  
16：10　　閉会

講演概要については文末をご覧ください。

※１　振込先は以下のいずれかよりお振込みください。  
　東日本銀行（銀行コード：0525）　  
　矢口支店（店番号：123）　  
　口座番号：0391403  
　名称　　：グリーンプロダクツケンキュウカイ

　ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）（※２）　  
　記号（11350）  
　番号（12872871）  
　名称：グリーンプロダクツケンキュウカイ

※２　他の銀行から、ゆうちょ銀行へ振り込みの際には  
　店名　一三八　（イチサンハチ）  
　店番　138  
　普通預金  
　口座番号　1287287  
　名称：グリーンプロダクツケンキュウカイ

※３　振込手数料は恐れ入りますが、各自でご負担ください。

講演概要

講演１「添加物不使用ガイドライン及び今後の食品表示制度の方向(仮題)」  
1. 　加工食品の原料原産地表示を含む新たな食品表示基準の完全施行と監視動向  
2. 　食品添加物の不使用表示ガイドラインの内容と検討経緯  
3. 　消費者基本計画等を踏まえた「分かりやすい食品」及びECサイトやスマートフォンのアプリケーシ　ョン等新たな媒体活用による今後の情報伝達方策に関する検討状況

講演２「食品表示の考え方」

1.     最近の食品表示  
　　食品表示制度の意義と最近のアサリ、シイタケ原産地表示、定義JAS制定、認証制度との関わり等  
2.     遺伝子組み換え表示の歴史と位置づけ　制度の導入から最近の制度改正まで

グリーンプロダクツ研究会　運営委員　カルビー株式会社　大河原 http://<a\_okawara@calbee.co.jp>

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人)  
<https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***第100回コーデックス連絡協議会 (開催案内)　2022/5/24**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25708.html>

　　厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、令和4年6月14日 （火曜日） に、コーデックス委員会における活動状況の報告と検討議題に関する意見交換を行うため、「第100回 コーデックス連絡協議会」を開催します。なお、今回は、ウェブ上での傍聴を受け付けます。

記

1 開催概要

(1) 厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、コーデックス委員会（※）の活動及び同委員会での我が国の活動状況を、消費者をはじめとする関係者に対して情報提供するとともに、検討議題に関する意見交換を行うため、コーデックス連絡協議会を開催しています。コーデックス連絡協議会の委員、活動内容等は、以下のURL ページに掲載しています。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html>

(2) 今回は、令和4年7月に開催される第53回残留農薬部会 （CCPR) の主な検討議題の説明を行い、令和4年2月から3月にかけて開催された第52回食品衛生部会 (CCFH) 及び令和4年5月に開催された第15回食品汚染物質部会 (CCCF) の報告を行い、意見交換を行うこととしています。

※ コーデックス委員会（Codex Alimentarius Commission）は、1963 年にFAO（国連食糧農業機関）とWHO（世界保健機関）が合同で設立した政府間組織です。消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を保証するために、国際標準となる食品の規格（コーデックス規格）や基準・ガイドラインなどを定めています。

2 開催日時

日時：令和4 年6 月14 日（火曜日） 13 時00分～14 時30分

開催形式：ハイブリッド

・委員はAP虎ノ門 Aルーム（東京都港区西新橋 1-6-15 ） またはウェブにて参加

　　　　 ・傍聴はウェブのみ

3 議題

（１）コーデックス委員会の活動状況

ア 今後の活動について

・第53回残留農薬部会（CCPR)

イ 最近コーデックス委員会で検討された議題について

・第52回食品衛生部会（CCFH)

・第15回食品汚染物質部会 (CCCF)

（２）その他

　　 これまでの当会議の議事概要等は以下の URL ページで御覧になれます。 また、今回の会議資料は、令和4年 6 月10 日（金曜日） までに厚生労働省のURLページに掲載するとともに、会議終了後に3省庁のURL ページで公開することとしております。

厚生労働省<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

<https://www.maff.go.jp/j/study/codex/index.html>

4 傍聴可能人数

100 名程度

5 傍聴申込要領

（１）申込方法

　　電子メールにて、以下のお申込先に、｢第100回コーデックス連絡協議会｣ の傍聴を希望する旨、御氏名（フリガナ）、御連絡先 （電話番号、電子メールアドレス） 、勤務先・所属団体等を明記の上、お申込み下さい。（電話でのお申込みは御遠慮願います。 また、消費者庁 食品表示企画課及び農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課ではお申込みをお受けできません。）

＜電子メールによるお申込先＞

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全企画課 宛て

電子メールアドレス：<codexccp@mhlw.go.jp>

（２）申込締切等

令和4年6 月7日（火曜日）17 時00分必着です。

　　　 希望者多数の場合には、各社・各団体から1名までとさせていただきます。その上で、定員に達した場合は締め切らせていただきます。

　　　傍聴の可否については、6 月8 日（水曜日）までに御連絡します。

（３） 傍聴される皆様への留意事項

　　　次の留意事項を遵守してください。これらを守られない場合は、今回および今後の傍聴をお断りすることがあります。

・ウェブ会議を撮影、録画・録音をしないこと

・ウェブ会議用の URL を転送したり SNS で公開したりしないこと

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

（４） その他

・傍聴等に係るインターネット通信料は、参加者の負担となります。

・安定したネットワーク環境の利用を推奨します。

・ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、御本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。

お問い合わせ先

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生･食品安全企画課

担当者：国際食品室 佐々木、海老名

代表：03-5253-1111（内線2405）FAX：03-3503-7965

消費者庁 食品表示企画課

担当者：朝日、横田

代表：03-3507-8800 (内線2329)FAX:03-3507-9292

農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課

担当者：国際基準室 織戸、堀米、押川

代表：03-3502-8111 (内線4471)ダイヤルイン：03-3502ｰ8732

FAX:03-3507-4232

**■***NEW***その他の感染症　2022/5/20**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

[小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月20日報道発表）](https://www.mhlw.go.jp/content/000941003.pdf)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000941003.pdf>

**■***NEW***小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月20日）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25802.html>

　　世界各国において小児における原因不明の急性肝炎が継続して報告されています。世界保健機関（WHO）では、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

　厚生労働省ではこうした事案について、令和４年４月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼、4月27日に当該事例の感染症サーベランス及び積極的疫学調査についての事務連絡を発出しているところです。

暫定症例定義（※）に該当する2021年10月１日から2022年５月19日10時までの累積報告症例数を別添の通り公表します。今後も、定期的に症例報告の状況をとりまとめて公表していきます。

厚生労働省としては、引き続き、各国政府やＷＨＯ、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ 暫定症例定義は以下のとおりとする。「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和４年４月27日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の1、2、3のいずれかを満たすもの：

1確定例 現時点ではなし。

2可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)又はアラニントランスアミナーゼ(ALT)が500 IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

3疫学的関連例 2の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月20日報道発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000941003.pdf>

関連情報

その他の感染症（13　欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎について）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（農薬等（スピノサド等７品目）の残留基準の設定又は改正）及び「食品衛生法第13条第３項の規定により人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質の一部を改正する件（案）」に関する御意見の募集について　2022/5/16**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495220028&Mode=0>

　受付開始日時 2022年5月16日0時0分

受付締切日時 2022年6月14日23時59分

**■第79回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和４年度第３回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）　資料**

**令和４年５月13日（金）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00042.html>

**■小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月13日）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25680.html>

　世界各国において小児における原因不明の急性肝炎が継続して報告されています。世界保健機関（WHO）では、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

厚生労働省ではこうした事案について、令和４年４月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼、4月27日に当該事例の感染症サーベランス及び積極的疫学調査についての事務連絡を発出しているところです。

暫定症例定義（※）に該当する2021年10月１日から2022年５月12日10時までの累積報告症例数を別添の通り公表します。今後も、定期的に症例報告の状況をとりまとめて公表していきます。

厚生労働省としては、引き続き、各国政府やＷＨＯ、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ 暫定症例定義は以下のとおりとする。「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和４年４月27日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の１、２、３のいずれかを満たすもの：

１確定例 現時点ではなし。

２可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)又はアラニントランスアミナーゼ(ALT)が500 IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

３疫学的関連例 ２の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

小児の原因不明の急性肝炎について（令和4年5月13日報道発表）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000938542.pdf>

関連情報

その他の感染症（13　欧州及び米国における小児の原因不明の重篤な急性肝炎について）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou19/index.html>

**■原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2022/5/13**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_25673.html>

　本日、原子力災害対策本部は、岩手県に対し、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限が指示されていた、岩手県一関市において産出されたナメコ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）のうち、県の定める管理計画に基づき管理されるものについて、出荷制限の解除を指示しました。

１　岩手県に対して指示されていた出荷制限の対象品目のうち、一関市において産出されたナメコ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）のうち、県の定める管理計画に基づき管理されるものについて、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から岩手県への指示は別添１のとおりです。

（２）岩手県の申請は、別添２のとおりです。

２　なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】 原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】

「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和４年３月30日）

（別添１）　<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000938338.pdf>

（別添２）　<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000938339.pdf>

（参考資料）　<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/000938340.pdf>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.11/ 2022（2022.05.25）　2022/5/25**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202211m.pdf>

**目次**

**【米国食品医薬品局 食品安全応用栄養センター（US FDA CFSAN）】**

1. 環境制御型農業（CEA）で生産された包装済み葉物野菜によるサルモネラ感染アウトブ　レイクの調査に関する報告書を発表

**【米国食品医薬品局（US FDA）】**

1. 米国食品医薬品局（US FDA）が乳幼児用調製粉乳に関連して発生しているクロノバクター（Cronobacter sakazakii）感染に関する苦情を調査（2022 年 5 月 17、16、13、11 日付更新情報）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. ピーナッツバターに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella　Senftenberg）感染アウトブレイク（2022 年 5 月 21 日付初発情報）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. ECDC-EFSA 合同迅速アウトブレイク評価：チョコレート製品に関連して複数国にわたり発生しているサルモネラ（単相性 Salmonella Typhimurium）感染アウトブレイク

（2022 年 5 月 18 日付更新情報）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 欧州委員会（EC）指令 2003/99/EC の枠組みにおける人獣共通感染症とその病原体およびその他の病原微生物に関する 2021 年の情報の報告方法マニュアル

**【英国保健安全保障局（UK HSA）】**

1. イングランドでノロウイルス感染アウトブレイクが増加中

**【アイルランド食品安全局（FSAI）】**

1. アイルランド食品安全局（FSAI）の相談窓口が 2021 年に対応した食品関連の苦情は3,414 件

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）設立 20 周年 － リスク同定と健康保護に携わった 20 年

**【ニュージーランド第一次産業省（MPI, NZ）】**

1. 食品回収に関する新ガイダンス

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（17）（16）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.11/ 2022（2022.05.25）　2022/5/25**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202209c.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2022/foodinfo202209c.pdf%20)

**＜注目記事＞**

**【EFSA】 フタル酸エステル類と他の可塑剤：再評価の優先順位**

欧州食品安全機関（EFSA）が、食品接触物質（FCM）に使用される可塑剤のフタル酸エステル類、その構造的類似物質、代替物質について、再評価の優先順位付けを行った。対象は EU や国によって FCM への使用が認可されている物質のみとして、リスク評価が最後に実施された年を指標に 3 グループ（古い順に優先度が高・中・低）にランク付けした。今後、暴露評価に必要となる食品や FCM 中の濃度データの募集を予定している。

**【FDA】 FDA は食品包装材における特定のフタル酸エステル類の使用を制限し、最新の食品接触用途及び安全性データに関する情報提供を求める文書を発行する**

米国食品医薬品局 (FDA) は、食品接触用途のフタル酸エステル類に関する食品添加物請願 2 件と、市民請願 1 件に対する回答を発表した。うち 1 件の食品添加物請願を受け入れ、産業界によって使用が放棄されているとの理由に基づき、23 種のフタル酸エステル類と他 2 物質について認可を取り消した。結果的に、食品接触用途の使用認可は残りの 9 種に限定されることになり、それらのうち可塑剤としての使用が認められている 8 種について、最新の使用実態や食事暴露量、安全性に関する情報提供を呼び掛けた。

**＊ポイント：**EFSA と米国 FDA から同じタイミングで食品接触物質に使用されるフタル酸エステル類に関する記事が発表されました。当初の規制から数年が経過し、フタル酸エステル類の使用が減少している現状を反映させるために規制を見直すための取組です。

**【FSA】 アクリルアミド**

アクリルアミドは、ジャガイモやパンなどのデンプンを多く含む食品を高温（120℃以上）で調理すると生成される副生成物である。英国食品基準庁（FSA）は、英国毒性委員会（COT）がレビューした最近の研究では、家庭でジャガイモを冷蔵庫で保管しても冷暗所と比べてアクリルアミドの大幅な増加は見られないことが示されているとして、家庭でのジャガイモの保管には冷蔵庫と冷暗所のいずれを選択してもよいと助言を更新した。

**＊ポイント：** 食品中のアクリルアミドは、食品に含まれるアミノ酸の遊離アスパラギンと還元糖が反応して生成します。以前は、ジャガイモを低温下で長期間保管すると還元糖が増加するために冷蔵庫での保管はしないよう助言していましたが、家庭の冷蔵庫で保管する程度であれば還元糖の増加量はたいしたことはなく、それよりも低温保管による品質維持と食品廃棄の低減化の方が大切だと判断されたようです。また EFSA が、遺伝毒性に関する最新情報をまとめ、以前の結論を支持するものであったことを報告しています。

**【FDA】 FDA は NDI 執行裁量のガイダンス案を発表**

米国 FDA は、ダイエタリーサプリメント健康教育法（DSHEA）のもと、新規ダイエタリー成分（NDI）及び NDI 含有ダイエタリーサプリメントを市販する場合には、その 75日前までに FDA へ通知することを事業者に義務づけている。しかし、市販前通知をせずに流通している製品があるため、FDA は、限定的に事業者が不履行の市販前通知を提出できるようにする執行裁量に関するガイダンス案を発表した

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第860回）の開催について　2022/5/26**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和4年5月31日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

　（１）令和３年食中毒発生状況の概要について （厚生労働省からの説明）

（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・農薬 ４品目

ピリプロキシフェン、フルピラジフロン、フルミオキサジン、メトキシフェノジド

（厚生労働省からの説明）

・農薬及び動物用医薬品 １品目

　イソプロチオラン

（厚生労働省からの説明）

・動物用医薬品 １品目

　モサプリド

　　　（厚生労働省からの説明）

・動物用医薬品 １品目（評価要請の取下げ）

　 スルファチアゾール

　　　（厚生労働省からの説明）

・動物用医薬品 １品目（削除）

　　　スルファチアゾール

　　　（厚生労働省からの説明）

・動物用医薬品 ２品目

　　　クエン酸モサプリドを有効成分とする牛の強制経口投与剤（牛用プロナミド散２％）

牛ウイルス性下痢ウイルス（Npro及びErns遺伝子欠損１型・２型）生ワクチン（ボベラ）

（農林水産省からの説明）

・遺伝子組換え食品等 １品目

　　　ROM株を利用して生産されたα-アミラーゼ

（厚生労働省からの説明）

（３）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

　　・農薬「イソピラザム」に係る食品健康影響評価について

　　・農薬及び添加物「フルジオキソニル」に係る食品健康影響評価について

　　・遺伝子組換え食品等「Komagataella phaffii BSY0007 株を利用して生産されたフィターゼ」に係る食品健康影響評価について

（４）その他

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、5月30日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、5月31日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物の新たな評価方法による食品健康影響評価について」を掲載しました　20220525**

<https://www.fsc.go.jp/senmon/doubutu/>

**■加熱と調理「ハンバーグ編」　2022/4/27**

<https://www.youtube.com/watch?v=57RKgz22RNs>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年4月16日から令和4年5月6日）2022/5/20**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2022&from\_month=4&from\_day=16&to=struct&to\_year=2022&to\_month=5&to\_day=6&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=4&from_day=16&to=struct&to_year=2022&to_month=5&to_day=6&max=100%20)

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\shokkakyo\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/5/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220526.html>

**農林水産省は、5月26日（木曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）ワイオミング州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国ワイオミング州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年5月26日（木曜日）にワイオミング州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）生きた家きんについては、令和4年4月4日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**ワイオミング州キャンベル郡（発生郡）**

※1 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

※2 米国家畜衛生当局から提供された情報により、当該発生が野鳥に由来するものであって防疫措置により適切に郡内で封じ込められていることが確認できたため、二国間で設定した輸入条件に基づき、本措置の対象範囲を発生郡としています。

これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/5/23**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220523.html>

**農林水産省は、5月23日（月曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）イリノイ州、ユタ州及びワシントン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国イリノイ州、ユタ州及びワシントン州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年5月23日（月曜日）にイリノイ州、ユタ州及びワシントン州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）生きた家きんについては、イリノイ州は令和4年3月14日以降、ユタ州は令和4年4月20日以降、ワシントン州は令和4年5月9日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**イリノイ州ブーン郡、ユタ州ソルトレイク郡及びワシントン州サーストン郡（発生郡）**

**■***NEW***米国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/5/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220520.html>

**農林水産省は、5月20日（金曜日）にアメリカ合衆国（以下「米国」という。）オレゴン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。**

**1.経緯**

**米国オレゴン州の家きん飼養施設において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、米国家畜衛生当局から情報提供がありました。**

**2.対応**

**米国家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和4年5月20日（金曜日）にオレゴン州からの家きん肉等の輸入を以下のように一時停止（※1）しました。**

**（参考）生きた家きんについては、令和4年5月9日以降、一時輸入停止措置をしています。**

**【家きん肉、家きん卵等（※2）】**

**オレゴン州レーン郡（発生郡）**

**■フランスからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2022/5/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220519_3.html>

　　農林水産省は、5月18日（水曜日）にフランスのロワレ県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

フランスのロワレ県の家きん飼養施設において、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

フランス家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期すため、令和４年５月１８日（水曜日）にロワレ県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

　　これまでの生きた家きん、家きん肉等の輸入停止措置の状況等については、以下のページより確認いただけます。

動物検疫所：<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/im/hpai.html>

**■北海道白老町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内20例目）に係る移動制限の解除について　2022/5/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220519.html>

　北海道は、白老町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内20例目）に関し発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）北海道は、白老町の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内20例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました

（2）北海道は、白老町で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年5月14日（土曜日）午前0時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、北海道は、国内20例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月27日の翌日から起算して21日が経過する令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

　　3.参考

北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内20例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220416.html>

北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内20例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220420_2.html>

北海道白老町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内20例目）に係る搬出制限の解除について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220516.html>

**■北海道釧路市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内23例目）に係る移動制限の解除について　2022/5/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220519_2.html>

　北海道は、釧路市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内23例目）に関し発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）北海道は、釧路市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内23例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）北海道は、釧路市で確認された高病原性鳥インフルエンザに関し、令和4年5月8日（日曜日）午前0時に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、北海道は、国内23例目の移動制限区域について、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月27日の翌日から起算して21日が経過する令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**3.参考**

**北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内23例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220426.html>

**北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内23例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220428.html>

**北海道釧路市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内23例目）に係る搬出制限の解除について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220509.html>

**■北海道で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内25例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220518.html>

　北海道網走市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内25例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）北海道網走市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内25例目、5月14日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■北海道白老町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内20例目）に係る搬出制限の解除について　2022/5/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220516.html>

　　北海道は、白老町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内20例目）に関し発生農場の半径3kmから10km以内の区域に設定している搬出制限について、令和4年5月14日（土曜日）午前0時（5月13日（金曜日）24時）に解除しました。

今後、北海道は、国内20例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時)をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

1.今後の予定

（1）北海道は、白老町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内20例目）に関し、令和4年5月14日（土曜日）午前0時（5月13日（金曜日）24時）、発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（2）今後、北海道は、国内20例目の移動制限区域内で、当該疾病の新たな発生が認められなければ、発生農場の防疫措置が完了した令和4年4月27日の翌日から起算して21日が経過する、令和4年5月19日（木曜日）午前0時（5月18日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除する見込みです。

**■北海道における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内25例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2022/5/14**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220514.html>

本日（5月14日（土曜日））、北海道網走市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内25例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定します。

1.農場の概要

所在地：北海道網走市

飼養状況：約760羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（5月13日（金曜日））、北海道は、網走市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対して移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（5月14日（土曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■岩手県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内24例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2022/5/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/220513_1.html>

　岩手県一関市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内24例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）岩手県一関市の家きん飼養施設で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内24例目、5月12日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***リプサ株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について　2022/5/24**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028704/>

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220524_01.pdf>

　　消費者庁は、本日、リプサ株式会社に対し、同社が供給する「ラクトフェリン濃縮物加工食品」と称する食品に係る表示について、消費者庁及び公正取引委員会(公正取引委員会事務総局九州事務所)の調査の結果を踏まえ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

**■***NEW***リプサ株式会社に対する食品表示法に基づく指示について　2022/5/24**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/028705/>

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_220524_02.pdf>

　消費者庁は、本日、リプサ株式会社に対し、同社を表示責任者として販売する食品(一括表示欄の名称「ラクトフェリン濃縮物加工食品」)について、食品表示法第4条第1項に規定する食品表示基準に違反する表示を行っていたことから、同法第6条第1項の規定に基づく指示を行いました。

**■***NEW***栄養成分表示の普及啓発に関する動画　2022/5/23**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/food\_labeling/nutrient\_declearation/consumers/#m03](https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/nutrient_declearation/consumers/%23m03)

　栄養成分表示を活用するための動画をご紹介するリーフレットを作成いたしましたので、ご活用ください。

**■***NEW***高齢者向け消費者教育教材(動画)　2022/5/23**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/teaching_material/movies_for_seniors/>

**■栄養成分表示を活用するための普及啓発動画　2022/5/12**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/nutrient_declearation/consumers/movie/>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★JR東日本青森商業開発「しょうがでりんごジャム」 - 返金／回収　賞味期限切れ商品を販売した可能性があるため（賞味期限：22.05.10）　2022/5/26**

**★佐藤修商店「小田原吉匠（紅・白）、吉匠無澱粉蒲鉾（紅・白）、こだわり蒲鉾（紅・白）」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：23.06.03、正：22.06.03）　2022/5/26**

**★ベルク（松戸秋山店）「チルド蒸しベビーほたて」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：賞味期限5.28、正：消費期限：5.23）　2022/5/26**

**★ウッドベル（ミスタードーナツ米子R431ショップ）「ポン・デ・リング、ほか」 - 返金／回収　異物混入　2022/5/25**

**★横浜農業協同組合「小松菜」 - 返金／回収　シメコナゾール0.04ppm（小松菜において一律基準0.01ppm）が検出　2022/5/25**

**★日本ルナ「バニラヨーグルト」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：22.05.08）　2022/5/25**

**★大阪屋「バウムクーヘン」 - 返金／回収　カビによる汚染　2022/5/25**

**★青木光悦堂「ふわきぬカステラ」 - 交換／回収　カビによる汚染の可能性　2022/5/24**

**★マル伊商店「しらす干し」 - 回収命令　添加物使用基準違反　2022/5/24**

**★マックスバリュ東海（各務原那加店）「国産米粉100%プチシフォンケーキ（抹茶、レモン、メープル、チョコレート、プレーン）」 - 返金／回収　製品の任意表示で消費者が卵不使用と誤認する恐れがあるため　2022/5/24**

**★高橋ソース「プロ仕様 中濃ソース」 - 回収　中身がウスターソースに対して、中濃ソースのラベルを出荷したため　2022/5/23**

**★イオン「トップバリュベストプライス ピリ辛カルパス」 - 返金／回収　誤って「トップバリュベストプライス ピリ辛カルパス46g」の包材を使用したため、原材料にアレルゲン「乳」を過剰表記　2022/5/23**

**★岩田屋「豚タンスライス」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：22.10.19、正：22.5.20）　2022/5/20**

**★エイヴイ（南部市場店、平成町店）「豚バラスライス（解凍）スペイン産、豚バラシャブシャブ用（解凍）スペイン産」 - 返金／回収　解凍庫の温度が高いことが判明し、消費期限まで品質が保てない可能性があるため　2022/5/20**

**★九州コーケン「食用油脂：ユズシトラス1200、ユズシトラス2400」 - 返金／回収　造許可範囲外での生産品　2022/5/20**

**★九州コーケン「食用油脂：ハッカミント1200、ハッカミント2400」 - 返金／回収　製造許可範囲外での生産品　2022/5/20**

**★九州コーケン「食用油脂：CBDオイル10.4%、CBDオイル3.9%、CBDオイル5%」 - 返金／回収　製造許可範囲外での生産品　2022/5/20**

**★社会福祉法人青葉仁会「AOHANI 干し芋」 - 返金／回収　シーラー不良によるカビの発生の恐れ　2022/5/20**

**★富士貿易「ウェデル ホワイトチョコレート」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2022/5/20**

**★横浜森永乳業「トリプルヨーグルト 砂糖不使用」 - 返金／回収　社内自主検査による大腸菌群陽性のおそれ　2022/5/20**

**★マルト製菓「6個入 長崎かすていら、1本入 長崎カステラ（平）」 - 交換／回収　カビによる汚染　2022/5/20**

**★東海農産「じゃり豆濃厚チーズ」 - 返金／回収　金属片（製造器具の一部）混入のおそれ　2022/5/20**

**★村越牧子「都路こまき」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落、添加物の記載漏れ（調味料（アミノ酸等）、スモークフレーバー）　2022/5/20**

**★フジッコ「ヨープレイト ストロベリー&フランボワーズ」 - 返金／回収　カビが発生　2022/5/20**

**★マルハニチロ「子持ちからふとししゃも」 - 返金／回収　消費期限の表示欠落（本来の消費期限：2022年5月19日）　2022/5/19**

**★持留豆腐店「本にがりとうふ、味付け揚げとうふ、揚げとうふ、もめんとうふ」 - 回収　本にがりとうふに害虫が混入していたことが判明　2022/5/19**

**★高知県農業協同組合「にら小袋」 - 回収　ビタミンKの摂取をする上での注意事項の表示欠落　2022/5/19**

**★ミートショップまえじま「もち豚チャーシュー」 - 返金／回収　アレルゲン「小麦」の表示欠落　2022/5/19**

**★酢屋亀本店「七味辛みそ、山椒みそ、ごま味噌」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（賞味期限が6ヶ月（180日）のところ、1年先を印字）　2022/5/19**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■食中毒の発生について　2022年05月25日　神奈川県座間市**

**記者発表資料（県政・大和・厚木記者クラブ同時発表）**

**ウエルシュ菌**

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e8z/prs/r6185591.html>

　5月20日(金曜日)、座間市教育委員会から、「同じ給食弁当を食べた複数の中学校の生徒と職員が腹痛、下痢等の症状を呈している。」旨の連絡が厚木保健福祉事務所にありました。

　当該給食弁当を調理している飲食店を所管する厚木保健福祉事務所大和センターで調査を行ったところ、食中毒様症状を呈している人の共通の食事がこの飲食店が提供した給食弁当だけであること、症状が共通していること、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、本日、この飲食店が提供した給食弁当を原因とする食中毒と決定しました。

1　摂食者数　264名（男性：148名、女性：116名）（調査中）

2　患者数　59名（男性：32名、女性：27名）（調査中）

3　入院者数　0名

4　主な症状　腹痛、下痢など

5　原因施設

名　称

山路フードセントラルキッチン

業　種　飲食店営業

6　原因食品　調査中

5月19日（木曜日）に提供されたメニュー

チキンのプロバンス風、じゃが芋とツナのカレー炒め、パスタサラダ、マンゴーゼリー

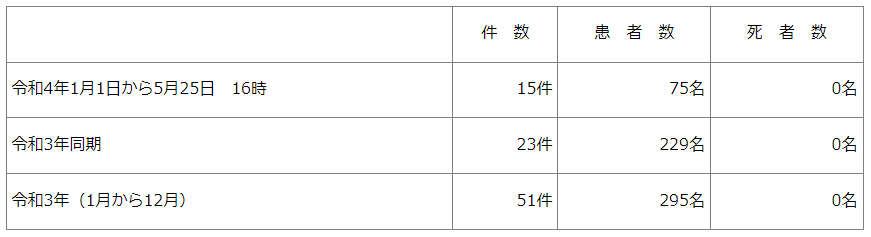
7　病因物質　ウエルシュ菌

8　措置

原因施設に対して、5月25日(水曜日)から営業禁止

（なお、同施設は、5月21日（土曜日）から営業を自粛しています。）

神奈川県の食中毒発生状況（本日発表の1件を含む）



**■松山市の飲食店で食中毒　５人が発症　「カンピロバクター」検出　「鶏のたたき」加熱不十分が原因【愛媛】　5/24(火) 20:05配信　テレビ愛媛　愛媛県松山市**

**カンピロバクター**

[https://news.yahoo.　co.jp/articles/c6ddadaf3cb7fb3a1865b20443405c64ff781026](https://news.yahoo.co.jp/articles/c6ddadaf3cb7fb3a1865b20443405c64ff781026)

**■食中毒発生状況　2022/5/16　高知県高知市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/36/syokutyuudokuhasseijyoukyou.html>

発生年月日　2022/5/16

　患者数　3

原因食品　不明

原因物質　カンピロバクター

原因施設　飲食店

**★寄生虫による食中毒★**

**■食品衛生法違反者の公表について （令和４年５月２５日更新）　新宿区**

**アニサキス**

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/content/000321898.pdf>

　公表年月日　2022/5/25

　業種等　魚介類販売業

　施設の名称　金駒

　主な適用条項　６条

　不利益処分等の原因となった食品等　魚介類刺身　アニサキス

　不利益処分等を行った理由　食中毒（当該鮮魚店が提供した食品を原因とする）

　不利益処分等の内容

　　令和４年５月２５日の１日間、営業の一部（－２０℃以下で２４時間以上の冷凍処理をしていない生食用鮮魚介類の調理、提供）停止

取扱改善命令

**■寄生虫「アニサキス」による食中毒　鮮魚店で買ったサバ・アジ・キスの刺身食べ　鳥取県で今年10例目　5/24(火) 10:44配信　BSS山陰放送　鳥取県倉吉市**

**アニサキス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a1b082051db61d3db56aab0e3b36613ec389e7c5>

**★自然毒による食中毒★**

**■食中毒の家族４人、「ノビル」そっくりの有毒植物「タマスダレ」食べる…交ざって自生　天ぷらにして嘔吐　埼玉県狭山市**

**5/25(水) 8:13配信**

**植物性自然毒　タマスダレ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fea8d7a4e869c6fcc46dac3734e158968606ba84>

**有毒植物による食中毒の発生について　埼玉県狭山市　2022/5/24**

**植物性自然毒　タマスダレ**

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0708/news/page/news2022052401.html>

1 探知

令和4年5月21日（土曜日）12時頃、狭山保健所管内の医療機関から「土手で採取したノビルを天ぷらに調理し、喫食した家族の内4名が、吐き気と嘔吐の症状で受診した。持参した残品を確認したところ、ノビルに混ざってタマスダレと見られる野草があった。」旨の連絡があり、狭山保健所が調査を開始した。

2 調査状況

(1) 喫食者数 6名

(2) 患者状況 4名（男性3名、女性1名 10代～40代）

自宅付近の土手で採取した野草を自宅で調理し、令和4年5月20日（金曜日）18時から19時に喫食した6名中4名が発症。

受診者4名。全員回復した。

(3) 入院者数 0名

(4) 初発年月日 令和4年5月20日（金曜日）19時

(5) 主症状 吐き気、嘔吐

(6) 原因食品 ノビルの天ぷら（タマスダレ：推定）

(7) 病因物質 植物性自然毒　症状及び潜伏期間がタマスダレによるものと一致した。

(8) 食中毒の届出　患者を診察した医師から食中毒患者等届出票が提出された。

(9) 採取場所 当該野草は患者が保健所管内土手で採取したものであった。

3 県の対応

狭山保健所は本件を、有毒植物による食中毒と判断し、患者に対し、再発防止について指導した。

また、食品安全課ホームページ「有毒植物に注意しましょう」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0708/syokutyuudoku/yobou/byouin/shokubutu.html>　において、主要な有毒植物に関する注意喚起を行っている。

**有毒植物による食中毒の発生について　2022/5/24　埼玉県狭山市**

**植物性自然毒　タマスダレ**

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/216498/news2022052402.pdf>

1 探知

令和 4 年 5 月 21 日（土）12 時頃、狭山保健所管内の医療機関から「土手で採取したノビルを天ぷらに調理し、喫食した家族の内 4 名が、吐き気と嘔吐の症状で受診した。

持参した残品を確認したところ、ノビルに混ざってタマスダレと見られる野草があった。」旨の連絡があり、狭山保健所が調査を開始した。

2 調査状況

(1) 喫食者数 6 名

(2) 患者状況 4 名（男性 3 名、女性 1 名 10 代～40 代）

自宅付近の土手で採取した野草を自宅で調理し、令和 4 年 5 月20 日（金）18 時から 19 時に喫食した 6 名中 4 名が発症。

受診者 4 名。全員回復した。

(3) 入院者数 0 名

(4) 初発年月日 令和 4 年 5 月 20 日（金）19 時

(5) 主症状 吐き気、嘔吐

(6) 原因食品 ノビルの天ぷら（タマスダレ：推定）

(7) 病因物質 植物性自然毒

症状及び潜伏期間がタマスダレによるものと一致した。

(8) 食中毒の届出 患者を診察した医師から食中毒患者等届出票が提出された。

(9) 採取場所 当該野草は患者が保健所管内土手で採取したものであった。

3 県の対応

狭山保健所は本件を、有毒植物による食中毒と判断し、患者に対し、再発防止について指導した。

また、食品安全課ホームページ「有毒植物に注意しましょう」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0708/syokutyuudoku/yobou/byouin/shokubutu.html>　において、主要な有毒植物に関する注意喚起を行っている。

**★その他関連ニュース★**

**■【感染症情報】感染性胃腸炎、プール熱などが増加 - ヘルパンギーナは横ばい**

**5/25(水) 11:40配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b1c4f062c734e8371b3c7769c87b328921111d95>

**■アニサキス食中毒多発　鳥取県が注意喚起　鮮魚店で購入のサバで発症の例も**

**5/24(火) 12:24配信　日本海テレビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/5b0256034cd1ab665d131d83052cbc08cbe21841>

**■牛乳飲んだ児童が食中毒　2022.05.23　まにら新聞**

<https://www.manila-shimbun.com/tabloid/tabloid1653231600.html>

**■気をつけて！マダニから感染「日本紅斑熱」増加　千葉県内は昨年最多17人　命に関わる場合も　5/22(日) 20:10配信　千葉日報**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8220bc2165fac4578b18e2edd475c6a290d61f3a>

**■マダニ感染症の患者今年初確認【徳島】**

**5/22(日) 17:51配信　JRT四国放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3fa7102e3ca62f480ae7d19f354bf5a49dd7c4db>